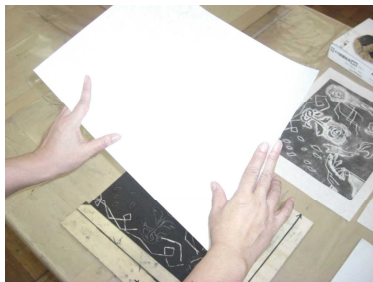


☆この授業で付けたい力

- ・木版画の技法を用い、偶発的、意図的な表現から自分の内面を引き出す能力を養う。【関】
- ・印刷方法、道具、材料の使い方を理解し版画ならではの味わいや複数性の楽しさを知る。【創】
- ・間接的な表現による偶然性の面白さを味わう【発】
- ・友人の作品を観察することでお互いの感性を理解する。【鑑】

☆展開

- (0) 作業計画表に完成までの大まかな作業手順を計画する。
- (1) 原画を描く。(画題：心象風景)。エスキース作業計画表の裏面に描く。
- (2) 下絵を描く。直接トレーシングペーパーに描く。
- (3) 転写 画面をどの様に構成し、白：黒の割合（4：6程度）を計算しながら転写する。
- (4) 彫り 彫りはただ下絵に沿って彫るだけでなく彫刻刀の様々な技法を用いる。画用紙、寒冷紗、紙やすりなどの質のちがいのあるものをコーラージュしたり、ボンドを塗ったり、偶発的、または意図的な表現から自分の内面を引き出し創造の幅を広げる。
- (5) 刷り



紙の持ち方  
人差し指の中指の間に紙を挟む。



見当板（外見当）  
画面に紙が触れないように親指で見当板にのせる



紙が見当と合ったところで画面に紙を落としこみ見当板を抜いてばれんで摺る

- (6) 乾燥 作品によってはインクが乾かないうちに金・銀の粉末ポスターカラーを筆でふりかける。
- (7) 彩色 題名エディション No 入れ 作品の裏面から彩色する画面より外に絵の具がにじまない様に注意する
- (8) 額装 自分で色指定した額に入れる。のこりのエディションNo. の入った作品全てを自己評価カードに挟み込み提出する。
- (9) 鑑賞（2学期文化祭にて作品展示）

☆観点別評価

評価の観点	美術への関心・意欲・態度：(関)	発想や構想の能力：(発)	創造的な技能：(創)	鑑賞の能力：(鑑)
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、木版画の表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせる、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために木版画の技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	版画の表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

☆その他

作品の見せ方の最終形まで学習し、作品のあり方を学習する。  
完成した作品にサインや題名を入れ、額装するとより際立って見えるので、達成感が出る。コラグラフやマチュール板などの様々な間接的な技法に木版の彫りの技法を加えると表現の幅が一層広がり、より複雑な画面を構成できる。そしてより偶然性の面白さを味わうことが出来る。